

土日議会に関するアンケート  
調査結果報告書

篠山市議会

# 篠山市議会 土日議会に関するアンケート調査結果報告書

## 調査概要

### 【調査目的】

開かれた議会に向けた取り組みの一つとして、市民の率直な意見及び要望を把握し、今後の取り組みの参考にしていくことを目的に実施。

### 【調査対象】

第71回定例会（平成22年3月議会）の本会議（第4日・5日）における傍聴者

### 【調査日】

平成22年 3月20日（土）・3月21日（日）〔土日議会〕の2日間

### 【調査項目】

1. 傍聴者の属性…………… 2～3頁
2. 傍聴の状況…………… 4頁
3. 取り組み（土日議会開催）の評価…………… 4頁
4. 議会情報の入手状況…………… 5頁
5. 自由記述…………… 5～6頁

### 【回収（協力者）率】

平成22年 3月20日（土）・3月21日（日）〔土日議会〕

の2日間の延べ傍聴者58人中、46人（協力者率：79.3%）

### 参考 - 今期の定例会一般質問日傍聴者数

時期	H20			H21				H22
	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月
人数	37	53	23	22	23	18	23	58

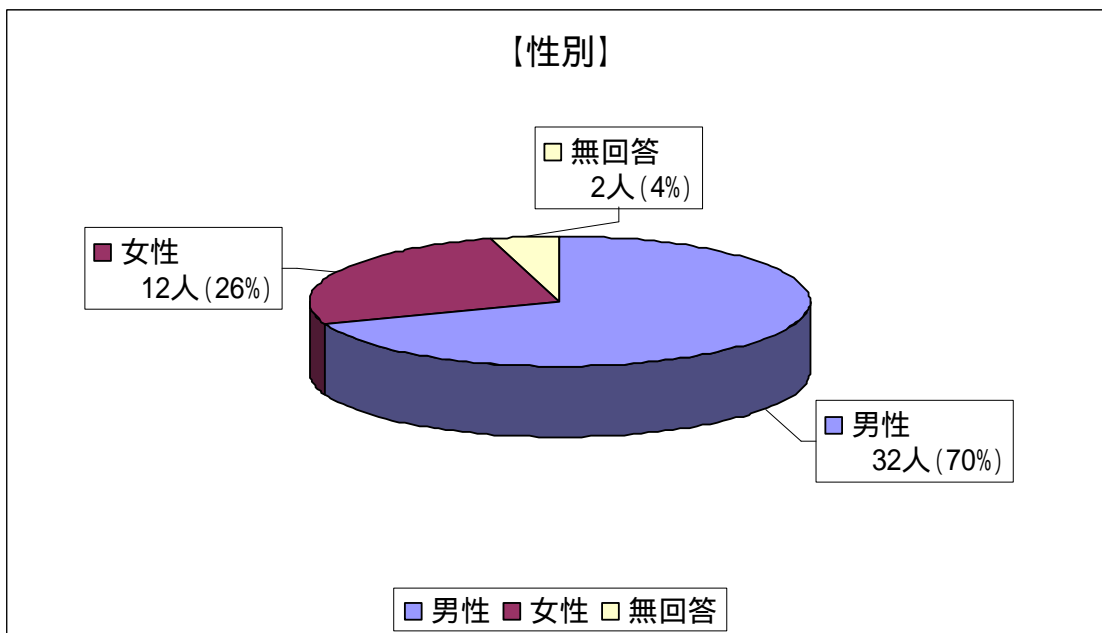
臨時議会（H21.5・H22.7）は除く

人数は延べ人数

## 1. 傍聴者の属性

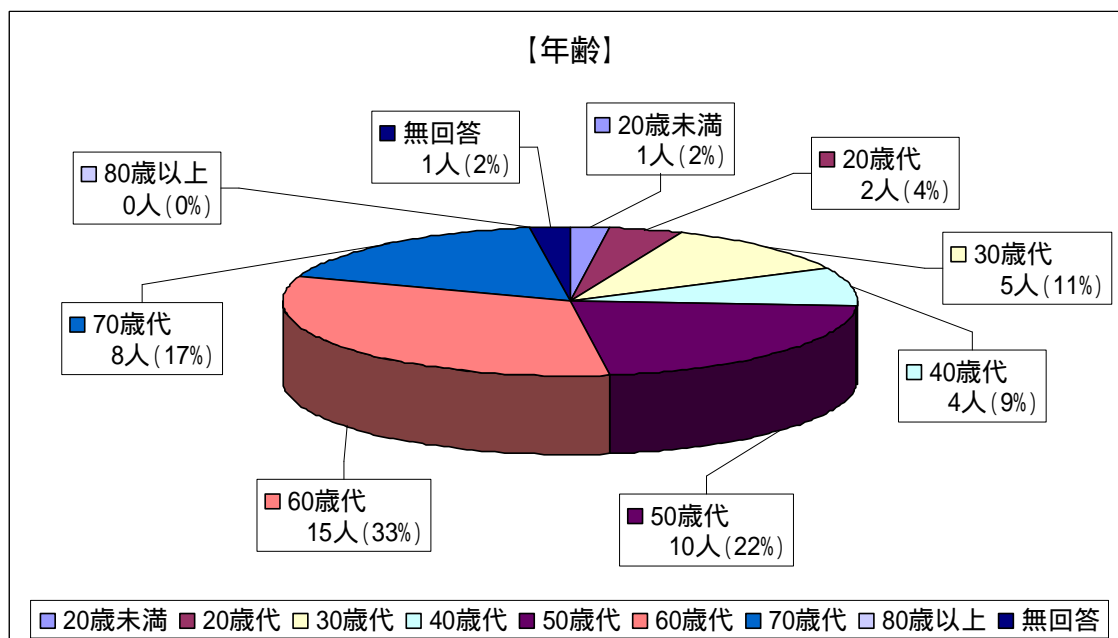
### 【性別】

「男性」が32人(70%)、「女性」が12人(26%)と、男性の方が多く傍聴されている。



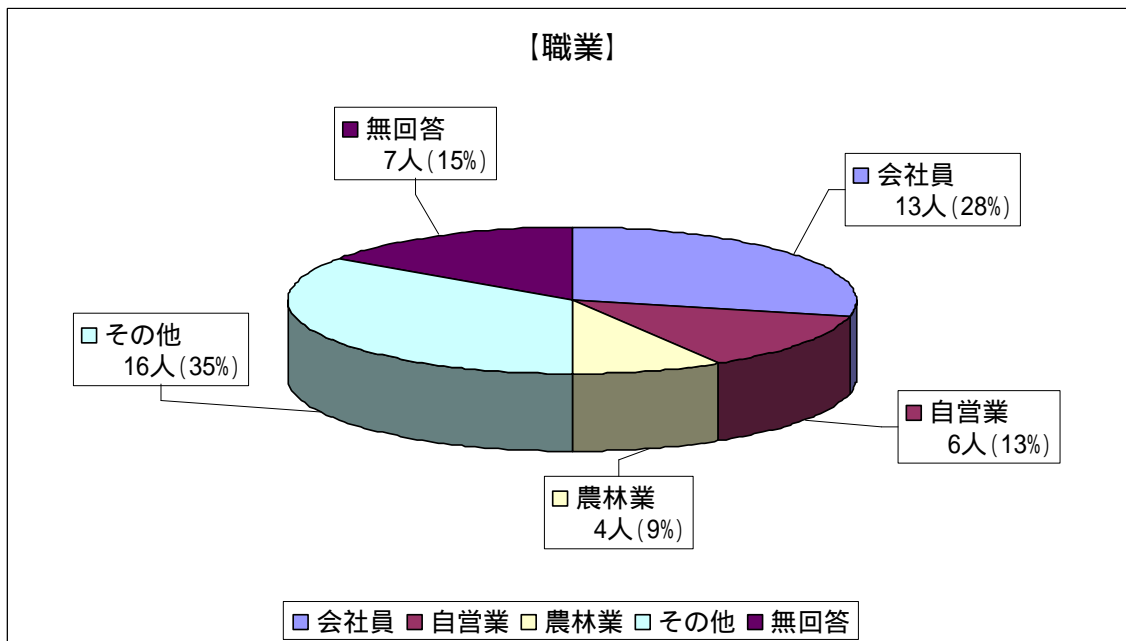
### 【年齢】

「60歳代」が15人(33%)で最も多く、次いで「50歳代」の10人(22%)、「70歳代」の8人(17%)で、50～70歳代で7割を超え、この世代に集中している。また、「30歳代以下」は8人(17%)と少ない状況にある。



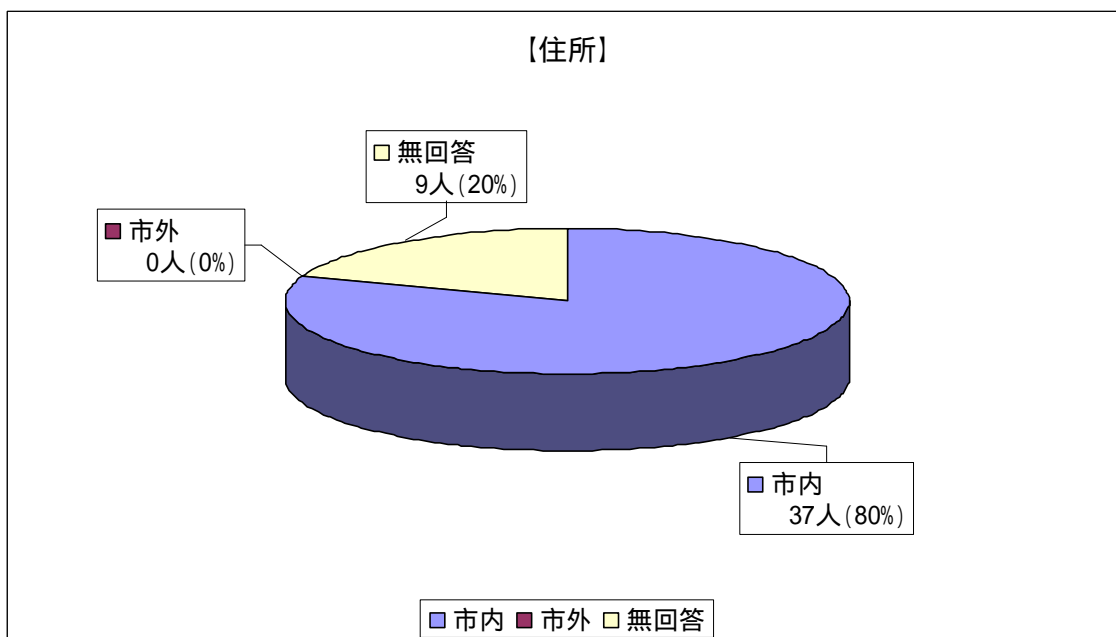
### 【職業】

「その他」を除くと、「会社員」が13人(28%)と一番多く、次いで「自営業」が6人(13%)となっている。なお、「その他」としては、無職・主婦等となっている。



### 【住所】

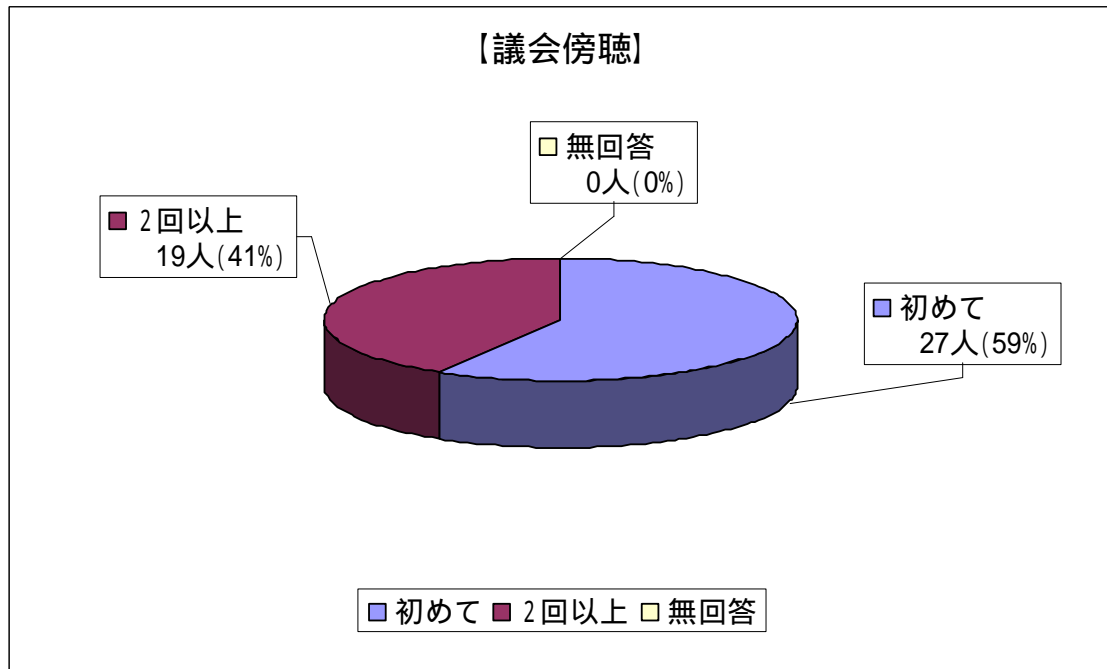
回答者の全てが「市内」在住者で、「市外」からの傍聴はなかった。なお、地域別では、丹南中学区と篠山中学校区が大半を占めている。



## 2. 傍聴の状況

### 【傍聴回数】

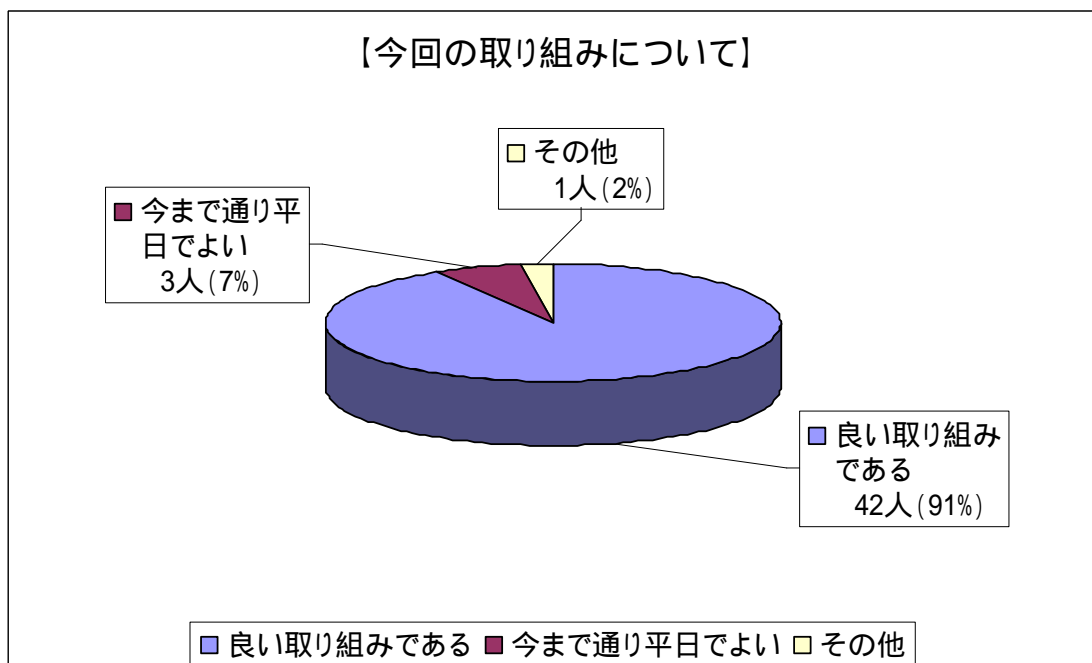
傍聴回数については、「初めて」が27人(59%)とほぼ6割近くを占めており、今回の傍聴者数の増加は、その上積みであると考えられる。また、「初めて」の職業別では、「会社員」及び「その他」が各11名となっている。なお、最多傍聴回数は7回であった。



## 3. 取り組みの評価

### 【土日議会に対する評価】

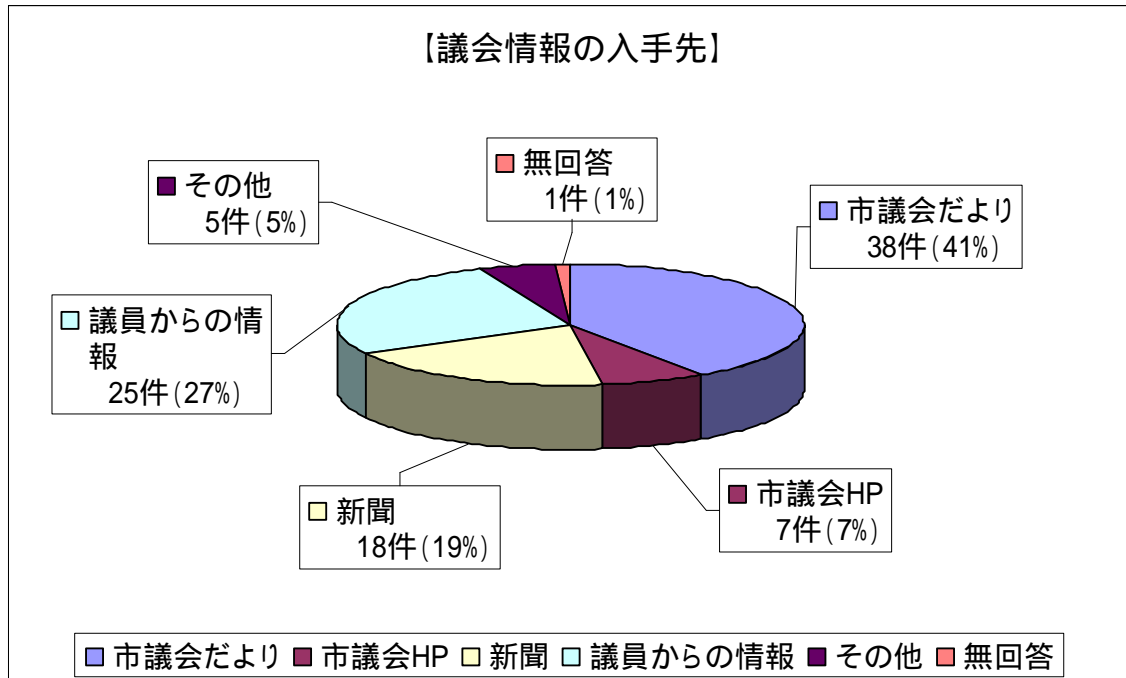
「良い取り組みである」が42人(91%)となっており、概ね良い評価をいただいている。一方、「今まで通り平日でよい」は3人(7%)で、その理由として、経費や場所等の問題が挙がっている。



#### 4 . 議会情報の入手状況

##### 【議会情報の入手先(複数回答)】

議会情報については、「市議会だより」が38件(41%)、次いで「議員からの情報」が25件(27%)、新聞が18件(19%)となっており、大部分を占めている。とりわけ、今回の取り組みについては、新聞報道でも大きく取り上げられたことも傍聴者が増加した要因の一つであると思われる。



#### 5 . 自由記述

##### 【ご意見・ご感想(要約・抜粋)】

##### (土日議会について)

- ・働いている世代の人が、市政に少しでも興味や関心を持たれるよいチャンスになると思う。
- ・継続することにより、若い層の市民が参加される様に、さらに呼びかけることが大切である。
- ・土日開催や平日の夜間開催を日常的に行ってほしい。
- ・田園交響ホールや市民センター等、より多くの市民が参加できるようにしてほしい。
- ・平日より傍聴者は多くなったのか。あまり変わらないようなら費用の無駄かもしれない。
- ・生活パターンは色々であり、平日に限らず、土日に行くのも一つの方法であると思うが、職員の負担や費用等を考慮するとよい方法とも思えない。
- ・平日であっても議会傍聴者が増えるように活発な議会での議論が交わされることを希望する。そういう訳で、今後、土日議会を増やしていく必要はあまりないと思う。
- ・私が傍聴していた時間帯は傍聴者がとても少なかった。初めての取り組みとして注目されていたにもかかわらず、このような状況であれば、今回の取り組みは失敗だったのではないかと。
- ・傍聴者が少なかった。まだまだ、一人では入りにくい感じです。
- ・個人での参加は少し抵抗がある。今回は広く呼びかけがあったので来やすかった。

- ・状況を見ながら、今後の取り組みを考える必要がある。
- ・今回の取り組みが、議会の活性化にどのようにつながるのかを十分に点検してください。

#### (一般質問について)

- ・大変熱心で、市民の声も取り上げてくださる等、心意気を感じた。
- ・質問内容と市民の生活実態とのズレを感じる。
- ・質問が単調である。事前に準備したシナリオ通りに終わっているように思う。行政の答弁に対し、切り込んだ質問がない。
- ・正直、少しがっかりした。議員はもう少し具体の提案を行い、それを実行するように発言した方がよいのではないか。「～検討してください」は、どうかと思う。
- ・もう少し簡潔に質問してはどうか。同じ事の繰り返しでは時間がもったいない。
- ・何時頃にどの議員が、どのような質問をするのかについて、もっと広報してほしい。
- ・幅広い質問でよいと思う。しかし、それも全てを聞けばとのことであり、一日、議場で遇するも難しいとなれば、類似、関連する問いをまとめて進行すれば、聞きたい内容と関連事項は傍聴できるのではないかと思う。

#### (その他)

- ・色々な取り組みに敬意を表します。
- ・市民の目線、立場、状況に立っての議員活動、しがらみや派閥を越えた、篠山地域を愛する人たちの集団である議会であってください。
- ・あまりメモをとっている議員が少ないのはどうしてでしょうか。
- ・傍聴者に対する議員の態度が良くない。明るく、声かけが必要である。
- ・会派の旗印、目標等がどういうものか知りたい。
- ・篠山市の前途を定めるにあたっては、市の歴史をベースとすること、先進地の見学等は役に立たないと思う。
- ・悪政のツケを貧しい市民にまわしている現状を深く認識してほしい。今、民間の給与と市行政の給与には、ずいぶん差があります。市公務員を民間並みに下げような決議を市議会で決定してください。
- ・議長及び各議員が繰り返し発言する議員番号は必要ですか。
- ・壁時計が非常に見にくい。わざと見えにくいものになっているのか。

## 総評

今回の取り組みについては、初めての方や通常は少ない会社員や30歳代以下の方の傍聴もあり、一定の効果はあったと考える。

今後は、これらの傍聴者が引き続き傍聴されること及び新規傍聴者の誘導等について、配慮していく必要があるとともに、誰もが傍聴しやすい環境づくりをさらに進めていくことが必要である。

また、土日議会の取り組みについては、概ね高い評価をいただいているが、全国的には、回数を追うごとに傍聴者が減少している事例も多くあり、注視する必要がある。この点も踏まえ、土日議会の継続的な実施については、費用対効果や今回のアンケート結果等も参考にしながら検討していく必要がある。手法については、傍聴者の地域的な偏りも見られることから、場所の選定や議会報告会の開催等も含め検討していく必要がある。

今後も、女性や若い世代の議会への関心や傍聴意欲の醸成を図っていくとともに市民の市議会への関心を高めていくために、市議会だよりの更なる充実等、議会情報の積極的な発信が必要である。

なお、今回のアンケートについては、回答数が46人と少数であり、回答数としては少ない状況であることは否めない。しかしながら、生の貴重な意見として、この結果を真摯に受け止め、かつ尊重しながら、今後の議会運営の手法及び議員活動のあり方等を考えていく必要がある。また、今後は議会傍聴者以外の方を対象にアンケートを実施するなど、より多くの市民から意見を得る方策等も考えていく必要がある。

最後に、今回のアンケート結果のポイントとして以下のことを挙げ、これを今後の精査・検討事項とし、まとめとする。

- ・市民の議会への関心の向上
- ・傍聴しやすい環境の整備
- ・積極的な情報公開及び広報活動の更なる充実
- ・市民の声を聞く機会の拡充